

令和元年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまる

令和2年度

京都府

I 第3次京都府食育推進計画目標に関する
年度別目標数値及び達成状況

第3次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況（令和元年度計画）

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
1	実践型食育を実施している小・中学校の割合	目標	—	65%	80%	95%	98%	100%
		達成状況	57%	73%	92%	89.5%	91.7%	
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部農政課）</p> <p><令和元年度の取組実績>きょうと食いく先生の派遣（農林漁業者・食品加工・調理）や農作業体験を支援する指導者の派遣を通じて実践型の食育授業の支援を行いました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
2	「お弁当の日」を実施する府内の学校の数	目標	—	22校	24校	26校	28校	30校
		達成状況	20校	22校	20校	64校	57校	
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部農政課）</p> <p><令和元年度の取組実績>食育推進フォーラム等の教職員が参集する機会に、「お弁当の日」のリーフレットを配付し、実践校の取組例を紹介しました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
3	学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合	目標	—	22%	22%	24%	24%	30%
		達成状況	18%	16.4%	16.5%	15.8%		
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（保健体育課）</p> <p><令和元年度の取組実績> 地場産物を活用し地域の特色を生かした学校給食に取り組みました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
4	大学、企業、老人施設等の食堂で地元農林水産物を多く使用する「たんとおあがり京都府産施設」の増加	目標	—	157施設	166施設	177施設	188施設	200施設
		達成状況	145施設	154施設	152施設	169施設	166施設	
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部流通・ブランド戦略課）</p> <p><令和元年度の取組実績> 地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図りました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
5	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	目標	—	年5回	年5回	年5回	年5回	年5回
		達成状況	—	年5回	年6回	年7回	年5回	
<p><目標設定の考え方>食品表示等に関する知識等を取得することで府民の健康増進につなげたいと考えています。（農林水産部農政課）</p> <p><令和元年度の取組実績>令和2年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい知識を提供するために、講習会等を開催しました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
6	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店」の増加	目標	—	550店舗	680店舗	550店舗	800施設	800店舗
		達成状況	567店舗 食情報提供店	753店舗 食情報提供店	766店舗 食情報提供店	794店舗 (食の健康づ くり応援店の み)	788店舗 (食の健康づ くり応援店の み)	
<p><目標設定の考え方>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー ③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」を増加させることで、府民の健康増進につなげたいと考えています。(健康福祉部健康対策課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕※食情報提供店は平成29年度で終了</p>								
<p><令和元年度の取組実績> 引き続き、新規加入・新制度への移行を働きかけました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
7	食の安心・安全府民大学の開講	目標	—	年6回	年6回	年6回	年6回	年6回
		達成状況	—	年14回	年6回	年6回	年14回	
<p><目標設定の考え方>食の安心・安全に関すること、調理に関すること、食を選ぶことに関すること、京都の食文化に関することなど、食に関することを総合的に学べる機会を提供することで、家庭の食育推進など、複合的な効果を発揮したいと考えています。(農林水産部農政課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								
<p><令和元年度の取組実績> 家庭における食品ロス削減に向けた映像教材を作成し、ホームページで公開する等啓発を行いました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
8	朝食を毎日食べる府内小学生の割合(6年生)	目標	—	—	—	85.8%	90.4%	95%
		達成状況	87%	86.2%	85.8%	83.7%	85.3%	
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合(3年生)	目標	—	—	—	81.3%	85.6%	90%
		達成状況	82%	81.1%	81.3%	77.3%	79.7%	
<p><目標設定の考え方>朝食は、極めて重要な働きをしており、とりわけ、子どもたちが朝食を欠食しないよう家庭に働きかけていきたいと考えています。(教育庁学校教育課)</p>								
<p><令和元年度の取組実績> あらゆる機会朝食摂取の大切さについて、啓発を行いました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
9	食のみらい宣言(食育宣言)を行い、健全な食生活をおくる府民	目標(累計)	—	2,000人	4,000人	6,000人	8,000人	10,000人
		達成状況	—	2,149人	4,228人	7,094人	9,714人	
<p><目標設定の考え方>単独世帯の増加など、様々なライフスタイルがあり、家庭だけでなく、府民がつながり、個々の自発的な食育活動につなげたいと考えています。(農林水産部農政課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								
<p><令和元年度の取組実績> 各種イベントで食のみらい宣言として、自らの食に関する目標をあげていただきました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
10	食事の宅配事業を実施する「京野菜ランド」の数	目標	—	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	5箇所
		達成状況	—	1箇所	1箇所	2箇所	9箇所	
<p><目標設定の考え方>今後の少子高齢化の進展を踏まえれば、自ら調理できない方の増加も見込まれ、地産地消を前提とした良質な食事を提供できる環境整備が必要と考えています。(農林水産部流通・ブランド戦略課)</p>								
<p><令和元年度の取組実績> 実施数増加にむけて働きかけました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
11	京都における季節の行事食などの研修会の実施	目標	—	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回
		達成状況	—	年7回	年4回	年4回	年4回	
<p><目標設定の考え方>和食のユネスコ無形文化遺産登録に代表される京都の食文化を積極的に後世に残していく必要があると考えています。(農林水産部農政課)</p>								
<p><令和元年度の実績> 京都府食育推進協議会・交流会、「きょうと食いく先生」養成講座等、和食・日本型食生活や地域の行事食等の食文化を実施しました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
12	「きょうと食いく先生」の授業数の増加	目標	—	160授業	220授業	280授業	290授業	300授業
		達成状況	108授業	202授業	267授業	329授業	373授業	
<p><目標設定の考え方>食に関するエキスパートである「きょうと食いく先生」が持つ、知識や経験を子どもたちをはじめ広く府民に広げることにより、京都の食文化の裾野を広げていきたいと考えています。(農林水産部農政課)</p>								
<p><令和元年度の実績> 関係機関と連携し、きょうと食いく先生を派遣しました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
13	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	目標	—	年15,000個	年15,000個	年15,000個	年15,000個	年15,000個
		達成状況	年6,285個	年15,004個	年25,351個	年39,734個	年42,185個	
<p><目標設定の考え方>「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を広めることで、京都の食文化の継承など、複合的な効果を発揮したいと考えています。(健康福祉部健康対策課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								
<p><令和元年度の実績>引き続き、新規認定への働きかけ、学会弁当採用への営業、イベント会場での販売等、普及に働きかけました。</p>								

Ⅱ 取組一覧及び取組の展開

1 取組一覧（令和元年度計画）

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号					
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス							
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者												
農林水産部	農政課	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催	4	A	○														
		子ども用調理器具貸出事業の実施	4	A	○														
		府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ	4	A	○														2
		京都における季節の行事食などの研修会の実施	5	A										○					11
		きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施	5	A	○	○					○			○					12
		食育シンポジウム等の開催	5	A	○	○	○	○			○	○	○						
		食育交流会の開催	6	A	○	○	○	○			○	○							
		食育団体が連携した食育活動の推進	6	A	○	○	○	○											
		食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	6	A							○	○	○						5
		食の府民大学の講義の充実	7	A							○	○	○	○					7
		食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催	7	A							○	○	○						5
		リスクコミュニケーション等の開催	8	A							○	○	○						5
		食品ロス削減のための啓発事業の実施	8	A														○	
		食育強化月間における関係団体と連携した啓発	9	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		食のみらい宣言・実践活動表彰の実施	9	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○						9
		イベント等での食育の啓発	10	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		京都府及び関係機関の「食」に関する情報発信	10	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供	11	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信	11	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
食育プラットフォーム参加者の拡大	11	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
教育委員会	高等学校保健体育課	学校教育活動全体を通じた食育の推進	12	A	○													1	
		調理実習等の充実	12	A	○													1	
	体育保健課	地場産物を取り入れた学校給食の促進	13	A	○													3	
		地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	13	A	○													1・12	
	人事職員課	採用選考試験等の実施	13	A	○													1	
	体育保健課	教職員研修の充実	14	A	○													1	
学校給食を活用した食育の推進		14	A	○													1・3		
福祉部	健康対策課	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	15	A			○		○								6		
		「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	15	A					○				○				13		
地域乙訓部	保健所	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組	15	A		○	○		○										

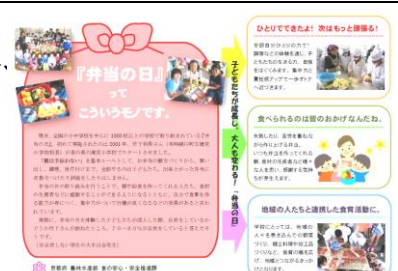
担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								の推進計画の目標 の項目番号		
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの		食品ロス	
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者							
山城地域	農林振興工部局	山城マルシェの開催	16	A								○		
		「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	16	A	○	○	○	○				○		
		直売所利用客への食品ロス削減啓発活動	16	A									○	
	保山城所北	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	17	A		○	○		○					
		健康づくりイベントでの食育啓発活動	17	A	○	○	○	○	○					
	保山城所南	家庭における食育推進をねらいとした啓発	17	A					○	○				
南丹地域	農林振興工部局	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	18	A					○	○				
		栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	18	A	○								1・12	
	南丹保健所	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）	19	A		○			○					
		動きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」（保健室）	19	A			○		○					
		「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）	20	A					○	○				
		きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）	20	A	○	○	○	○	○	○				
		南丹地域配食サービスリストの普及（保健室）	20	A					○	○				
中丹地域	中丹広域振興局	ジビエ料理教室	21	A			○	○	○	○		○		
		ジビエ料理レシピコンテスト	21	A			○	○	○	○		○		
		ジビエフェア	21	A			○	○				○	1	
丹後地域	農林振興工部局	小学校の食育活動に対する支援	22	A	○								12	
		食育実践者向け研修会の実施	22	B	○	○	○	○						
		食いく先生のPR媒体を作成	23	A	○	○	○	○					12	
		食いく先生による府民向け食育セミナーの開催	23	A										
	丹後保健所	食育フォーラムの開催	24	A	○	○								
		イベントでの食育体験コーナー等の設置	24	A	○	○	○	○	○					
		食育月間の取組	24	A					○					
農林水産部	振興課	子どもを対象とした農業体験の開催	25	A	○									
		高校生・大学生による農業関連実践活動	25	A		○								
	担い手育成・経営支援課	農業体験活動の推進	26	B						○				
		食を楽しみながら学ぶ機会の提供	26	B						○				
	流通・戦略課	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	27	A	○	○	○	○				○	4	
		京野菜ランドによる宅配事業への支援	27	B				○			○		10	
	農林水産技術センター	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催	28	A					○			○		
		農林水産技術センター施設公開の開催	28	A	○	○	○	○				○		

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号		
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス				
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者									
農産課	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	29	A	○						○		○				
	農山漁村伝承技能の登録・認定	29	A				○					○				
	京都米提供店の紹介	30	A								○					
	茶育の推進	30	A	○												1
	環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	30	B								○					
水産課	水産教室の開催	31	A	○												1
	都市漁村交流の促進	31	A	○	○	○	○									
商工労働観光部	総合中小企業支援課 高齢者等への買い物支援	31	A				○									
	ものづくり振興課 食品表示法・HACCP研修会の開催（実施団体：食品産業協会）	32	B						○							5
	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）	32	A							○						
府民環境部	公園と星の見える丘（全課） 郷土料理作り	33	A	○	○	○			○	○	○	○				
	おくどさん体験及び夕食づくり	33	A	○	○	○				○	○	○				
	石窯パン・ピザ作り	34	A	○	○	○				○		○				
	アースデイ丹後	34	A	○	○	○				○	○	○				
件数	80			42	34	34	30	35	32	20	28	2				



2 取組の展開（令和元年度計画 3月末の実績）



担当または窓口 農政課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催		
取組の内容	幼児への味覚の発達・調理力向上等を目的に、食育指導者等を対象とした研修会を実施し、幼児に対する調理実習の推進を図ります。 目標：1回		
取組の実績 評価 A	令和2年2月、市民交流プラザふくちやまにて開催（22名） 内容：講演「保育所・幼稚園等における効果的な食育の取組について ～食育計画と活用、授乳・離乳の支援ガイドの改訂のポイント～」 実績：1回		


担当または窓口 農政課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施		
取組の内容	子どもを対象とした調理実習を推進するために、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。 目標：20施設		
取組の実績 評価 A	心身の成長発達と共に味覚や食習慣の基礎が培われる重要な時期である幼児期に、健全な食生活、農林漁業体験、地域の食文化等について、調理体験を通して学ぶことを目的に、調理器具の貸出、講師派遣を実施 実績：20施設		


担当または窓口 農政課		施策 世代（子ども）	目標 2
取組事項名	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ		
取組の内容	子ども達が自分でつくる「お弁当の日」を府内の学校に広めるため、府内での実践状況や取組等について、情報を提供します。 目標：28校		
取組の実績 評価 A	<p>京都府校長会（H31.4.19）、京都府指導主事会（H31.4.16）、京都府食育推進交流会（R1.6.14、21）において、教職員等に「お弁当の日」のリーフレットを配付し、取組例を紹介</p> <p>実績：57校</p> 		

担当または窓口	農政課	施策	京都ならではの	目標	11
取組事項名	京都における季節の行事食などの研修会の実施				
取組の内容	食の府民大学やきょうと食いく先生の活動において、京都における季節の行事食などの研修会を実施します。 目標：4回				
取組の実績 評価 A	京都府食育推進協議会・交流会、「きょうと食いく先生」養成講座等、地域の食文化研修会を実施 実績：4回				

担当または窓口	農政課	施策	世代（子ども、若い世代）、家庭、京都ならではの	目標	12
取組事項名	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施				
取組の内容	学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理等を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 また、小・中学校等へ社会人講師として出前授業を行う取組を進めます。 目標：養成講座開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 290授業				
取組の実績 評価 A	実績：養成講座開催1回（令和2年2月21日） きょうと食いく先生の授業数 373授業 （令和元年度新規認定者 29名）				
					

担当または窓口	農政課	施策	世代（全世代）、家庭、ワイルド、京都ならではの	目標	
取組事項名	食育シンポジウム等の開催				
取組の内容	きょうと食育ネットワーク、大阪ガス（株）と共同で「家族で日本型食生活を実践～共食のススメ～」をテーマにシンポジウムを開催し、学校、地域、家庭での食育推進を働きかけます。 目標：1回				
取組の実績 評価 A	8月3日（土）京都リサーチパークにおいて開催、約140人参加のなか、滝村雅晴氏のパパ料理に関する豊富な知識と経験に基づき、日本型食生活や共食について講演をいただき、栄養学の専門家を迎えてパネルディスカッションを実施 実績：1回				
					

担当または窓口 農政課		施策 世代(全世代)、家庭、ライフスタイル	目標
取組事項名	食育交流会の開催		
取組の内容	近年、欠食や野菜不足、栄養バランスの偏り等の食生活の課題が見られることから、手軽にバランス良く一汁三菜をそろえる工夫を学び、日頃の食生活を見つめ直す機会とします。 目標：1回		
取組の実績 評価 A	令和元年6月、キャンパスプラザ京都にて開催 (62名) 内容：講演「手軽にバランスよく！一汁三菜からはじめる食育 ～無理なく続けられるコツと段取り術～」 講師 料理家・食生活アドバイザー 河野 真希 氏 実績：1回		

担当または窓口 農政課		施策 世代(全世代)	目標
取組事項名	食育団体が連携した食育活動の推進		
取組の内容	学校関係者や農林水産物の生産者、地域住民等、食育活動組織が連携して取り組む新たな実践型食育活動の取組について、経費の一部を助成し、府内の各地域ならではの食育活動を支援します。 目標：地域の食育めばえ事業実施団体 12団体		
取組の実績 評価 A	地域活性化組織による地元野菜を使った調理研修会、PTAによる食育講演会や試食会、学校給食研究会による出汁を活用した和食調理研修会等を実施 地域や学校関係者等による主体的な食育の取組を支援しました。 実績：地域の食育めばえ事業実施団体 20団体		

担当または窓口 農政課		施策 健康増進、家庭、ライフスタイル	目標 5
取組事項名	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催		
取組の内容	令和元年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい情報を提供するために、講習会等を開催します。 目標：5回		
取組の実績 評価 A	改正された食品表示についての講習会や、ブース出展においてクイズ形式で食品表示の解説を実施。特にブース出展では、普段食品表示に関心が低い方々にも興味を持って取り組んでいただくことができ、広く周知することができました。 実績：5回		

担当または窓口	農政課	施策	健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標	7
取組事項名	食の府民大学の講義の充実				
取組の内容	特に忙しい子育て世代に対して、食材を選ぶことや、調理方法の知識を簡単に入手できるように、YouTubeを活用した『5分間の講義』を提供します。 目標：6回				
取組の実績 評価 A	<p>14講座追加 〈講座内容〉 調理力講座 7講座 食品ロスを減らそう ○野菜ソムリエによる「野菜の適切な保存方法」基礎編 ○野菜ソムリエによる「野菜の適切な保存方法」冷凍保存編 ○野菜ソムリエ考案「食材別使い切りレシピ」トマト編 ○野菜ソムリエ考案「食材別使い切りレシピ」万願寺とうがらし編 ○野菜ソムリエ考案「食材別使い切りレシピ」にんじん編 ○野菜ソムリエ考案「食材別使い切りレシピ」ご飯編 ○野菜ソムリエ考案「食材別使い切りレシピ」小さく余った野菜編</p> <p>食選力講座 7講座 食中毒 ○ウェルシュ菌食中毒① ○ウェルシュ菌食中毒② ○ブドウ球菌食中毒 ○セレウス菌食中毒 ○ボツリヌス菌食中毒① ○ボツリヌス菌食中毒② ○ヒスタミン食中毒</p> <p>実績：14回</p>				





担当または窓口	農政課	施策	健康増進、家庭、ライフスタイル	目標	5
取組事項名	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催				
取組の内容	食の安全に関する施策や取組について、広域振興局ごとに消費者、生産者等と意見交換を行うとともに、消費者、生産事業者等と協働して食の安心・安全フォーラムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。 目標：5回				
取組の実績 評価 A	<p>府内各地で、消費者と生産者との意見交換を開催しました。</p> <p>南 丹「食の安心・安全に配慮した生産の実践について」 令和元年10月27日（日） なごみの里あさひ 32名</p> <p>中 丹「ジビエを地域資源としての活用方法や魅力について」 令和元年10月28日（月） 市民交流プラザふくちやま 16名</p> <p>山 城「山城産農産物の安心・安全の取組について」 令和元年12月15日（日） 久御山町公民館 35名</p> <p>農政課「きょうと食の安心・安全フォーラム」※ 令和2年2月10日 京都経済センター 95名</p> <p>※食の安心・安全に関する京都府等の取組を紹介するとともに、食品関連事業者等と消費者との交流を図り、信頼づくりの推進を目的とする</p> <p>丹 後 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止ため開催中止</p> <p>実績：4回</p>				


担当または窓口	農政課	施策	健康増進、家庭、ライフスタイル	目標
取組事項名	リスクコミュニケーション等の開催			
取組の内容	食中毒、食品添加物、放射性物質等の食に関するリスクをテーマに、生産者、事業者、専門家などの関係者と意見交換を行い、理解を深めます。 目標：15回			
取組の実績 評価 A	<p>国との連携や、府民の要望に応じたリスクコミュニケーションを開催。フィッシュボウル形式による意見交換等開催方法を工夫しながら実施</p> <p>令和元年9月13日（金） 中丹広域振興局福知山庁舎 20名 内容：「アクリルアミドについて」 他、府内各地で14回開催 実績：15回</p>			

担当または窓口	農政課	施策	食品ロス	目標
取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施			
取組の内容	<p>府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、府民向け研修会等を開催します。</p> <p>○府民向け研修会の開催 ○食べ残しゼロ推進店舗の認定 ○啓発資材の作成 ○イベント等での啓発</p>			
取組の実績 評価 A	<p>○府民向け研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年2月「食品ロス削減府民会議講演会」を開催（225名） 内容：京都府食品ロス削減府民会議報告「京都府における食品ロスの取組等について」 講演「やさしい和食でムダなく美味しく」 講師 料理研究家 大原 千鶴 氏 京都府、市町村等共催食品ロスセミナーの開催（精華町39名、久御山町40名） ヤング食育研修会（食品ロス）の開催（25名） <p>○京都府食べ残しゼロ推進店舗の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減の取組を実践する飲食店・宿泊施設、食品小売店を認定。 飲食店・宿泊施設 69店舗、食品小売店 53店舗 <p>○京都府食の府民大学（映像教材）の作成、公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜ソムリエによる「野菜の保存方法」2編 野菜ソムリエ考案「食材別使いきりレシピ」5編 <p>○啓発資材の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食材別使い切りレシピ集」の作成 <p>○Facebookによる情報発信、各種イベント啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産フェスティバル等で啓発、農政課Facebookにて情報発信（食品ロス削減月間、講演会の開催、府民大学動画作成のお知らせ等 			




担当または窓口 農政課	施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	食育強化月間における関係団体と連携した啓発	
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。</p> <p>目標：1回</p>	
取組の実績 評価 A	<p>京都府農林水産フェスティバル2019（令和元年11月30日、12月1日）において、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育体験コーナーを設置し、食育に関する展示（食事の栄養チェック）を行いました。</p> <p>実績：1回</p> 	

担当または窓口 農政課	施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標 9
取組事項名	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施	
取組の内容	<p>府民が主体的に食育活動に取り組むきっかけづくりとして、府民自らの食に関する目標（食のみらい宣言）を宣言していただく取組を実施します。</p> <p>また、この取組を推進するため、府民自らの食に関する目標（宣言）と、その結果（実践）及びその様子が分かる写真を「京都府食のみらい宣言・実践活動」として募集する「食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施します。</p> <p>目標：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 8,000人（H28からの累計）</p>	
取組の実績 評価 A		<p>○食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民：9,714人</p> <p>府民自らの食に関する目標と、その実践結果を募集する「京都府食のみらい宣言・実践活動表彰」では、562点の応募があり、この内優秀な作品10点を11月30日に開催した表彰式で表彰しました。</p> <p>この他、イベント等で多くの来場者に食のみらい宣言を実施していただきました。</p>

担当または窓口 農政課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	イベント等での食育の啓発		
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験できる機会とします。</p> <p>○食育取組事例等の展示・配布</p> <p>○体験型ブース出展（食生活の見直し等の体験の機会とします。）</p> <p>○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）</p>		
取組の実績 評価 A		<p>イベント出展日数：4日</p> <p>○SKY ふれあいフェスティバル 2019 (R1.9.14)</p> <p>○京都府農林水産フェスティバル 2019 (R1.11.30~R1.12.1)</p> <p>○京都キレイフェスタ 2020 (R2.1.18)</p> <p>各イベントでは、食育に関する取組の普及・啓発を行い、食育・食生活に関するアンケートを実施しました。</p> <p>また、京都府農林水産フェスティバル 2019 では、食生活改善推進員による食育体験コーナーを実施しました。</p>	

担当または窓口 農政課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	京都府及び関係機関の「食」に関する情報発信		
取組の内容	<p>ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を発信します。</p> <p><きょうと食育情報></p> <p>http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html</p> <p><京都府食の安全・食育情報 Facebook></p> <p>https://www.facebook.com/kyoto.shokuanzen.shokuiku/</p> <p><京都府食の安全・食育情報 Twitter アカウント></p> <p>https://twitter.com/kyotopref_shoku</p>		
取組の実績 評価 A	<p>スマートフォンの普及に伴い、Facebook ページや Twitter アカウントを新設するなど、情報発信の体制を見直しました。</p> <p>Facebook ページ及び Twitter アカウントでは、メールマガジンと同様毎月 1 回定期的に情報発信をしている他、随時食育や食の安全に関する取組を紹介するなど、普及啓発を行っています。</p>		

担当または窓口 農政課		施策 世代(全世代)、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供		
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むに当たって必要な情報を容易に取得できるようにします。</p> <p>【食育支援の取組】</p> <p>○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供</p> <p>○農林漁業体験プログラム 等</p>		
取組の実績 評価 A	「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施しました。		

担当または窓口 農政課		施策 世代(全世代)、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を情報発信します。		
取組の実績 評価 A	「きょうと食育事例集」に、きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報を掲載		

担当または窓口 農政課		施策 世代(全世代)、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	食育プラットフォーム参加者の拡大		
取組の内容	<p>食育が府民運動として取り組まれるための体制を整えるため、府内で食育に取り組む個人や団体が参加可能な食育プラットフォームの拡大を図ります。</p> <p>プラットフォームにおいては、府内外における食育の先進的な取組情報やそのノウハウの共有を行うとともに、食育に取り組む仲間や協力者を得るなど、食育に関して有益な情報交換や交流を行うための場として位置付けます。</p> <p>目標：食育プラットフォーム参加者 350名</p>		
取組の実績 評価 A	<p>SNSで食育情報を発信するとともに、食育行事等でプラットフォームへの参加を呼びかけました。</p> <p>実績：食育プラットフォーム参加者 640名 (きょうと食育プラットフォームFacebookページフォロワー 453名) (きょうと食の安心・安全・食育メーリングリスト登録者 187名)</p>		

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進		
取組の内容	<p>「食」に関する指導計画に基づき、食育に対する教職員の共通認識のもと、組織的・体系的な食育を展開することにより、子どもたちにとって望ましい食習慣づくりを推進します。</p> <p>また、食育に関する教職員等の意識の向上を図り、各関連教科や特別活動等、あらゆる機会を通じた「食」に関する指導を充実します</p> <p>目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%</p>		
取組の実績 評価 A	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと学校全体で取組を進めています。</p> <p>食育月間の取組、毎月19日の食育の日の取組、1月の学校給食週間の取組等について計画的に学校全体で計画的に進めています。</p> <p>【実践例】</p> <p>保護者や地域の協力を得ながら、畑にさつまいもを植えました。その後は、分担して水やり、手入れなどを行い、秋にはさつまいもを収穫しました。そして、そのさつまいもを使って、調理実習を行い、「さつまいももち」と「さつまいもチップス」を作りました。栽培、収穫、調理という一連の活動を通して、野菜を栽培し、食べる喜びを体験する取組になりました。</p>		

担当または窓口 学校教育課 高校教育課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	調理実習等の充実		
取組の内容	<p>基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全・衛生に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕</p>		
取組の実績 評価 A	<p>各学校で、家庭科、技術・家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携やきょうと食いく先生等の地域の専門家の協力を得るなど様々な工夫を凝らしながら、地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。</p> <p>【実践例】</p> <p>小学校5、6年生が家庭科の学習で、弁当の日の取組をしています。栄養教諭の指導により、おかずの彩りや栄養バランス、自分の食事量に見合った弁当箱の選び方などを学びました。調理実習の時には、保健所の職員や生活改善推進員など、地域の方にも来ていただきました。お弁当と一緒に、だし汁をとったみそ汁も作り、家庭科で学んだことを確かめながら調理をしました。友達の作った料理も味わいながら楽しくいただきました。</p>		



担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標 3

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食などを取り入れることにより、地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。 目標：学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合 24%
取組の実績 評価 A	「食に関する指導充実事業」「食育月間」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用し地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での実践発表やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し、普及を図りました。 文部科学省の実施する学校給食への地場産物活用状況調査に協力し、状況を把握するとともに地場産物の活用の良さや効果等について研修会等で伝えました。

担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標1・12

取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成
取組の内容	食の専門家である「きょうと食いく先生」や食生活改善推進員等の外部講師による指導、更には地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。 目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕 「きょうと食いく先生」の授業数 290授業〔再掲〕
取組の実績 評価 A	各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験学習を実施しています。 「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進しました。 【実践例】 小学校5年生では、きょうと食いく先生を講師に招き、食の専門家による出前授業を通して調理実習を実施しました。実際にだし汁を味わい、本物に触れることを通して和食について興味・関心を持つことができました。





担当または窓口 教職員人事課

施策 世代(子ども)

目標 1

取組事項名	採用選考試験等の実施
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。 目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕
取組の実績 評価 A	今年度、栄養教諭4名を採用し、全体で97人(京都市を除く)の配置数となりました。



担当または窓口 保健体育課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	教職員研修の充実		
取組の内容	<p>初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進交流会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。</p> <p>目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕</p>		
取組の実績 評価 A	<p>初任者、新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実事業」食育推進交流会、京都府学校給食研究協議大会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように食に関する研修を実施しました。</p> 		


担当または窓口 保健体育課		施策 世代(子ども)	目標 1・3
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進		
取組の内容	<p>和食の保護・継承や京の食文化への理解を深めるため、地場産物や郷土食、行事食を献立に取り入れたり、教科などに関連させたりして献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の取組を推進します。</p> <p>目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕 学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合 24%〔再掲〕</p>		
取組の実績 評価 A	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。</p> <p>学校給食を実施している府内全ての小・中学校で「和食の日(11月24日)」を中心として取組を行っています。学校給食でだしの味を生かした和食献立を提供するとともに、和食のよさや地域の食文化について学びました。</p> 		

担当または窓口 健康対策課		施策 世代（壮年期）、健康増進	目標 6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加		
取組の内容	①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。 目標：800店舗の登録（H32年度）		
取組の実績 評価 A	実績：778店舗の登録（R2.3月末現在）		

担当または窓口 健康対策課		施策 健康増進、京都ならではの	目標 13
取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数		
取組の内容	「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。 目標：年15,000個の販売		
取組の実績 評価 A	実績：年42,185個の販売（R2.3月末現在） （認定した弁当は、59種類）		

担当または窓口 乙訓保健所		施策 世代（若い世代、壮年期）健康増進	目標
取組事項名	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組		
取組の内容	特定給食施設である事業所と連携し、主に働き盛り層の男性従業員を対象に、健康課題の改善のため食習慣の改善に重点を置き、給食を介し、生活習慣病予防を図ります。		
取組の実績 評価 A	令和2年2月5日（水）（株）マクセル京都事業所食堂 450名 実績：1回（リーフレット等の配布、ポスターの掲示等）		

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 京都ならではの	目標
取組事項名	山城マルシェの開催		
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。 目標：5回		
取組の実績 評価 A	JR宇治駅で4回(9/10,10/1,10/29,11/26),宇治市役所で1回(1/15)の開催を計画 開催実績：5回(9/10,10/1,10/29,11/26,1/15) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(準備の様子)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(販売風景)</p> </div> </div>		


担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 世代(全世代)、健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大		
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：5店舗		
取組の実績 評価 A	令和元年9月4日(水)～令和元年12月27日(金)を募集期間として、登録店を募集した。(登録申請店舗数8) 今後、令和2年2月7日(金)に登録審査会を開催し、8店舗を新規登録した。 <div style="text-align: right;">  </div>		


担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 世代(全世代)、健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	直売所利用客への食品ロス削減啓発活動		
取組の内容	10月～11月の推進期間における管内の直売所利用者に対し、「食品ロスの削減」をプリントしたエコバッグを配付し、食品ロス削減の啓発を行います。 目標：エコバッグ配付数 1,000枚		
取組の実績 評価 A	管内13直売所にて780枚を配布、他に令和2年1月15日(水)開催の山城マルシェにて120枚を配布		


担当または窓口 山城北保健所		施策 世代（若い世代、壮年期）、健康増進	目標
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発		
取組の内容	管内商工会議所、事業所等と連携し、健診時等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等への食生活改善に向けた啓発の実施に努めます。		
取組の実績 評価 A	商工会議所で実施した歯周病予防健診に併せ、働き盛り世代の食生活改善に向けたパネルや媒体等の展示の実施（1回） 社員食堂等を持つ事業所と連携し、従業員の食および健康に関する意識向上を図るため、卓上 POP の設置による健康・栄養情報の提供による啓発等の実施（1回）		

担当または窓口 山城北保健所		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭	目標
取組事項名	健康づくりイベントでの食育啓発活動		
取組の内容	各種イベント等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価 A	健康づくりイベントで、がん予防、がん検診受診促進コーナーにおいて、野菜摂取向上、適塩等に関するパネルや媒体の展示等の実施（1回）		

担当または窓口 山城南保健所		施策 健康増進、家庭	目標
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発		
取組の内容	各種イベント等において、野菜の摂取やバランスのよい食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価 A	救急フェア（令和元年9月7日）の健康相談コーナーにおいて、野菜の摂取をテーマに、野菜料理のフードモデルの展示、パンフレット等の配布により、来場者に正しい知識や食べ方のコツ等の説明を行いました。（参加者数 157名）		

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部	施策 健康増進、ライフスタイル	目標
取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	
取組の内容	ボランティアが農家と一緒に農作業に汗を流すことで、農山村の活性化や地産地消を推進し、また、農家等地域との交流により、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。	
取組の実績 評価A	<p>京都丹波の8地区で農作業応援を47回開催し、延べ504人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。</p> <p>また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。</p> 	

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部	施策 世代（子ども）	目標1・12
取組事項名	栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	
取組の内容	<p>地元小学校が農産加工グループ、食いく先生、当普及センターが協力を得て、○小学校児童に大豆栽培から味噌作りや、味噌汁調理までの食育を行います。普及センターは大豆栽培指導の支援や味噌汁の具用野菜の栽培方法の指導を分担します。</p> <p>対象：亀岡市内小学校</p> <p>○小学校児童に黒大豆（枝豆）、壬生菜の栽培及び収穫までの食育を行います。普及センターは栽培方法の指導を支援します。 対象：南丹市内小学校</p> <p>目標：実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%〔再掲〕</p> <p>「きょうと食いく先生」の授業数 290授業〔再掲〕</p>	
取組の実績 評価A	<p>12月4日、南丹市立殿田小学校の児童10名を対象に、壬生菜栽培を体験する食育活動を実施。地元の壬生菜農家が地域での壬生菜の栽培状況や播種方法について説明を行い、2人1組で播種作業を行いました。その後、栽培中の壬生菜を観察し、学校給食にも提供されている壬生菜がどのように育つのかを知る機会となりました。</p> 	

担当または窓口 南丹保健所		施策 世代(若い世代)、健康増進	目標 9
取組事項名	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催(保健室)		
取組の内容	野菜摂取量の向上をめざした食育キャンペーンを、野菜摂取量が落ち込む若い世代(大学生)を対象に実施します。 目標:年1回 参加者150人		
取組の実績 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ・11月11日(月)に京都先端科学大学食堂にて、11月20日(水)に明治国際医療大学食堂にて、食育キャンペーンを開催しました。 ・「野菜を毎食食べてますかチェック」として、1日3食とも野菜を食べることをめざし、自分自身の野菜の食べ方を振り返るきっかけとする参加型のイベントとした。参加者は2校で計457人と多くの参加が得られました。 ・きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会として開催し、13の部会構成団体の協力のもと実施することが出来ました。 <p>実績:年2回 参加者457人</p> 		

担当または窓口 南丹保健所		施策 世代(壮年期)、健康増進	目標 9
取組事項名	働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり 「けんこう食堂化プロジェクト」(保健室)		
取組の内容	働き盛り層の「肥満者の増加」や「野菜摂取量の不足」など食に関する課題解決に向けて、企業・大学と保健所が協働で健康講座や食堂の環境整備を図ること で、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めるとともに、農 林商工部との連携により地元産野菜の販路拡大も進めます。 目標:1箇所以上		
取組の実績 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ・社員食堂を持つ事業所等1ヶ所に対し、働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」を新規で実施しました。これまでの継続フォローとしては2ヶ所実施しました。 ・亀岡市商工会議所及び園部労働基準協会主催の健康診断開催時に、健診を受診した働き盛り層に対し、食に関する啓発・展示・相談を4ヶ所実施しました。今年度からは新たに京丹波町でも実施し、管内全ての市町で取組みを実施することが出来ました。 <p>実績:7箇所</p>		

担当または窓口	南丹保健所	施策	健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）				
取組の内容	京都丹波地域府民会議食環境部会で29年度に編集した「野菜レシピカード」を農作物直売所・一般飲食店・食環境部会構成団体を通じて広く配布します。また、クックパッド京都府公式キッチンへ掲載し、広く普及します。 目標：直売所及び飲食店 年2回 配布枚数：計15,000枚				
取組の実績 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市、南丹市、京丹波町内で開設されている下記施設のうち希望された59ヶ所（常設野菜直売所38カ所、加工研究会代表等5カ所、一般飲食店（食情報提供店）16カ所）へ8月、12月の2回配布を行いました。 ・食環境部会構成団体がそれぞれ主体的にレシピを活用し、野菜摂取量の向上を図りました。 ・クックパッド京都府公式キッチンにおける野菜レシピカードの掲載は計36種類、合計6万7千件を超えるアクセスを得ました。 実績：直売所等2回、構成団体等40回 配布枚数：20,342枚				


担当または窓口	南丹保健所	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）				
取組の内容	南丹地域の食による健康長寿をめざすことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。 目標：年1回				
取組の実績 評価 A	構成団体（12団体）の出席を得て、7月4日に第1回を、1月23日に第2回を開催。取り組みの共有や課題の検討を通して、保健、保育、教育、ボランティア団体、農林部局と各所属を越えた連携に繋ぐことができています。 実績：年2回				



担当または窓口	南丹保健所	施策	世代（高齢者）、健康増進	目標	9
取組事項名	南丹地域配食サービスリストの作成（更新）（保健室）				
取組の内容	調理や買い物が困難な方や病気に合わせた食事を作ることが難しい方への在宅での食事の充実をめざし、南丹地域で利用できる配食サービスの資源調査を行い、サービスリストを作成したところです。必要な人に届くよう主な施設に配布及び保健所ホームページへ掲載する等、配布・周知を行います。				
取組の実績 評価 A	南丹地域配食サービスリストを必要とされる方がよく利用される病院や診療所等へ配布するだけでなく保健所ホームページ等へ掲載し、広く周知を行いました。 ＜配布先＞ 病院・診療所73箇所、薬局37箇所、老人施設31箇所 社会福祉施設13箇所、地域包括支援センター13箇所、行政9課等 ＜配布数＞ 800枚				

担当または窓口 中丹広域振興局		施策 世代（壮年期、高齢者）健康増進、家庭 京都ならではの	目標
取組事項名	ジビエ料理教室		
取組の内容	家庭料理教室を通じて優れた食品としてのジビエを学び、鳥獣害対策や広く地域振興について話し合います。		
取組の実績 評価 A	<p>7月29日 市民交流プラザふくちやま（福知山市） 15名 10月28日 市民交流プラザふくちやま（福知山市） 16名 12月6日 里山交流研修センター（綾部市） 5名</p> <p>家庭向けジビエ料理講習会を3回実施し、参加者自らが調理体験することによりジビエ料理の美味しさや野生鳥獣被害の実態、ジビエを食べることの意味を学びました。</p>		

担当または窓口 中丹広域振興局		施策 世代（壮年期、高齢者）健康増進、家庭 京都ならではの	目標
取組事項名	ジビエ料理レシピコンテスト		
取組の内容	家庭でもつくれるジビエ料理のコンテストを開催し、ジビエ料理を身近に感じる機会とします。		
取組の実績 評価 A	ジビエが家庭料理として気軽に食べられることをPRするため実施。10点の応募がありその中の3点を優良レシピとして選定し、京都府HP及びクックパッド京都府公式キッチンへ掲載しました。		

担当または窓口 中丹広域振興局		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期、高齢者）	目標
取組事項名	ジビエフェア		
取組の内容	中丹管内において、参加店舗がジビエ料理を提供します。 また、フェア参加消費者を対象に抽選によるプレゼント企画を実施する予定にしています。		
取組の実績 評価 A	令和元年12月7日～令和2年2月1日にジビエフェアを実施。 中丹管内、南丹管内の飲食店56店舗が参加（中丹：23店舗、南丹：33店舗）し、それぞれの店舗で工夫をこらしたジビエ料理を提供。ジビエ料理の普及促進とジビエを身近に感じられる機会となりました。		

担当または窓口 丹後農業改良普及センター	施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援	
取組の内容	小学校が取り組む水稲等の農作業体験活動を支援します。 目標：年2回	
取組の実績 評価A	<p>6月19日(水)宮津小学校及び近隣の畑で4年生71名を対象に大豆を学ぶ食育授業を行いました。大豆の来歴や生長の仕方、栽培方法学んだ後、畑まで行き、大豆の播種・かん水作業を行いました。</p> <p>さらに7月16日(火)には畝や畝間に生えた雑草の処理を行い、生育中の大豆の株元に土を寄せて、生育を促しました。</p> <p>実績：2回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>白大豆の播種</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講義の様子</p> </div> </div>	

担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部企画調整室	施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	食育実践者向け研修会の実施	
取組の内容	食育の実践に必要な知識やスキル向上を目的に府が研修会を実施し、地域の食育活動数の増加を図ります。 目標：年3回	
取組の実績 評価B	<p>8月8日(木)丹後保健所において開催、28名の参加のなか、きょうと食いく先生事業の取組紹介と、教職員と食いく先生、食育関係者とのワークショップ(食いく先生と教職員で出来る子供達に響く食育とは)を実施しました。</p> <p>食育に対する思いや推進における新たなアイデアを出し合い共有出来ました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

担当または窓口

丹後広域振興局農林商工部企画調整室

施策 世代(全世代)

目標12


取組事項名	食いく先生のPR媒体を作成
取組の内容	府が実施するきょうと食いく先生事業について、地域の食育活動推進を目的に府ホームページ、SNSに食いく先生を紹介し、活用実績数の増加を図ります。 目標：「きょうと食いく先生」の授業数 290授業〔再掲〕
取組の実績 評価 A	<p>○食いく先生紹介HPの作成 ※随時更新予定 【食いく先生の具体的な情報 (食育やお仕事への思い、可能な食育授業内容等)を掲載したもの】 http://www.pref.kyoto.jp/t-no-kikaku/20200226.html</p> <p>○学校等教育機関に配布用の事業啓発チラシ作成 【食いく先生事業の概要や、食いく先生一覧等が掲載されているもの】 (表面) (裏面)</p> 



担当または窓口


丹後広域振興局農林商工部企画調整室


施策 世代(全世代)

目標12

取組事項名	食いく先生による府民向け食育セミナーの開催
取組の内容	府が実施するきょうと食いく先生事業について、食いく先生の知識やスキル向上と府民に対する食育推進と食いく先生の認知を高める目的に食育セミナーを開催します。 目標：年1回
取組の実績 評価 A	<p>11月23日(土・祝)に他部局と連携し、丹後食育セミナー(食育に関する講演及び展示)を開催したところ、59名の参加がありました。</p> <p>ほしいもの会(丹後アレルギーを考える会)青木 伸代氏と、ピオ・ラビット ピオ対馬(対馬 則昭)氏から、アレルギーをテーマに御講演いただきました。</p> <p>子育てで苦労された経験から培った食生活のあり方、明日から実践できる調理方法などの講演をいただき、健やかに生き活きと過ごす上で有意義なものとなりました。</p> <p>参加者からは「食生活の改善の必要性を学ぶことが出来た」、「家族のために質の良い食生活に努めたい」等の感想が述べられました。</p> 


担当または窓口 丹後保健所		施策 世代(子ども、若い世代)	目標
取組事項名	食育フォーラムの開催		
取組の内容	農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりを進めることを目的に講演会等を開催します。 目標：年1回		
取組の実績 評価 A	<p>10月1日(火)に他部局と連携し、食育フォーラム(食育に関する講演及び展示)を開催したところ、112名の参加がありました。</p> <p>野菜ソムリエプロ・シーフードマイスターの民野摂子氏と、京丹後市地域おこし協力隊、管理栄養士の関奈央弥氏から、「丹後で取り組む食育の可能性」をテーマに御講演いただきました。</p> <p>講演では、熱心にメモをとる参加者がいたり、「子どもに野菜を食べることの大切さを教えていきたい」といった感想が寄せられるなど、丹後地域の食育推進につながりました。</p> <p>実績：1回</p>	 	


担当または窓口 丹後保健所		施策 世代(全世代)、健康増進	目標
取組事項名	イベントでの食育体験コーナー等の設置		
取組の内容	講演会や施設公開デーなどの多数の府民が集まる会場にて、健康づくりの推進を目的に、栄養士が食についての相談や体験コーナーを設置します。 目標：年2回		
取組の実績 評価 A	<p>8月21日(水)丹後農業研究所施設公開にて、府民を対象に、自身の食生活を見直してもらう機会を設けました。興味をもってもらうために、媒体の展示をするだけでなく、塩分摂取の目標量を知ってもらうなどの体験ブースを設けるなどの工夫も行いました。</p> <p>また、10月1日(火)食育フォーラムにて、食育活動の充実に向けた指導媒体や関係部局の活動等の展示を行いました。</p> <p>実績：2回</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 健康増進	目標
取組事項名	食育月間の取組		
取組の内容	食育月間である6月に、振興局庁舎内府民ホールにおいて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。		
取組の実績 評価 A	<p>食育月間である6月に、振興局庁舎内府民ホールにおいて歯科の展示と併せて適塩をテーマにフードモデルやパネルを展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。</p>		

担当または窓口 農村振興課	施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催	
取組の内容	<p>将来を担う子どもたちの農業に対する関心を深めるために、子どもたちを対象とした植え付け体験や収穫体験等のイベントを、地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標：農業体験イベント 10地区</p>	
取組の実績 評価A	<p>実績：ふるさと保全活動等 12地区 地域のお米の学習や農産物加工、またそれを支える農業用施設等を幅広く学習し、地域の「食」について深く考える機会となっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

担当または窓口 農村振興課	施策 世代(若い世代)	目標
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動	
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標：参加学校数 5校</p>	
取組の実績 評価A	<p>実績：教育実践パートナーシップ活動や参加型住民づくり事業 5校 農業や郷土食、農業用施設の学習や農作業体験等、地域の食や農業をキーワードに、地域の方とともに取組を実施し、学生の知識を深めています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	



担当または窓口 経営支援・担い手育成課（丹後王国「食のみやこ」）		施策 家庭	目標
取組事項名	農業体験活動の推進		
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（ブルーベリー、サツマイモ等）の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業体験（イカ漁体験）（年3回 15人×3回） ・ブルーベリー収穫体験（250人） ・サツマイモ収穫体験（100人） ・羊毛刈り体験（20人） ・レタス等季節の野菜類苗植え付体験（50人） ・キノコ（シイタケ・ナメコ）菌打ち体験（20人） <p>目標：485名</p>		
取組の実績 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験（185人）（7月20日～8月31日） ・サツマイモ収穫体験（65人）（9月～10月） ・レタス等季節の野菜類苗植え付体験 中止 ・キノコ（シイタケ・ナメコ）菌打ち体験 中止 <p>実績：250人</p> 		



担当または窓口 経営支援・担い手育成課（丹後王国「食のみやこ」）		施策 家庭	目標
取組事項名	食を楽しみながら学ぶ機会の提供		
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の加工施設等において、成形パン、アイスクリーム、クッキー等の「食」を楽しみながら学ぶ「手作り体験教室」や地元食材を使った「郷土料理体験実習」やインバウンド向け「料理体験教室」を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作り体験教室（成形パン、アイスクリーム、クッキー、ジャム作り）（3,000人） ・西利 漬物教室（50人） ・高校生チャレンジレストラン（20人） ・ばら寿司調理体験（30人） ・食人材学舎（40人） ・農泊人材学舎実習（30人） <p>目標：3,170人</p>		
取組の実績 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・手作り体験教室（成形パン、アイスクリーム、クッキー、ジャム作り）（2,281人）（4月～1月） ・高校生チャレンジレストラン（120人）（2月16日） ・食人材学舎（82人）（11月～2月） ・農泊人材学舎実習 中止 <p>実績：2,483人</p> 		

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策 世代（全世代）、京都ならではの	目標 4
取組事項名	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定		
取組の内容	<p>地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂を有する企業、大学、専門学校その他これらに準ずるものの構内に所在する食堂及び幼稚園、保育所その他これらに準ずるものを対象に認定証の交付を行い、意欲の向上を図ります。</p> <p>目標：188施設（新規認定施設数 11施設）</p>		
取組の実績 評価 A	<p>実績：166施設（新規認定施設数 12施設） （新規施設内訳 福祉施設1 企業1 幼稚園・保育所等 10）</p>		

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策 世代（高齢者）、ライフスタイル	目標 10
取組事項名	京野菜ランドによる宅配事業への支援		
取組の内容	<p>直売所へ出向くのが難しい方のために、京野菜ランドが宅配事業を実施できるよう研修会を実施するなど支援します。</p> <p>目標：京野菜ランドマネージメント人材育成研修会等の機会を通じた研修の実施 5回</p>		
取組の実績 評価 B	<p>以下の京野菜ランドマネージメント人材育成研修会の開催に合わせて宅配事業支援に係る研修を実施した。</p> <p>令和元年8月7日（水） 市民交流プラザふくちやま 令和元年8月27日（火） 宮津市福祉・教育総合プラザ 令和元年8月30日（金） 文化パルク城陽</p> <p>実績：京野菜ランドマネージメント人材育成研修会等の機会を通じた研修の実施 3回</p>		



担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）		施策 健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催		
取組の内容	府内産農林水産物に関する研究成果や最新情報を提供することで、府内産の特色ある食材に関する研究の内容を府民の皆様にも知ってもらい、身近に親しんでいただく機会を提供します。 目標：1回		
取組の実績 評価A	<p>11月15日（金）及び16日（土）に農林水産技術センター農林センターで実施の「京都スマート農業祭 2019」の一環として開催され、スマート技術を活用した中山間地域における水稻栽培や万願寺とうがらし栽培の省力化について講演を行いました。新しい技術による効率的、持続的な農業生産について活発な質疑が交わされました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）		施策 世代（全世代）、京都ならではの	目標
取組事項名	農林水産技術センター施設公開の開催		
取組の内容	府内各地にある農林水産試験研究機関において、京野菜や京都米、丹後とり貝など、京都府の特色ある農林水産物のつくり方やおいしさの“ふしぎ”に触れながら、その魅力を体感できる施設公開を、夏休み期間を中心に開催します。 目標：6回		
取組の実績 評価A	<p>7月～8月（茶業研究所のみ5月）にかけて府内の各部門研究センターで開催され、延べ約6,100人の方に来場いただきました。各センターの研究内容の紹介や農作物の収穫体験、施設探検ツアー等を実施し、来場者の方に研究所の取り組みを知っていただくとともに、府内農林水産物の魅力を体験していただきました。</p> <p>実績：6回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 農産課		施策 世代（子ども）、家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動		
取組の内容	<p>京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。</p> <p>目標：6回</p>		
取組の実績 評価A	<p>京都乙訓、宇城久、綴喜、中丹で活動する生活研究グループ地域連絡協議会が、各地の小学生、地域住民や親子を対象に、地域特産物の栽培体験や郷土料理講習会などの食育活動を定期的に行い、地元特産物の美味しさや郷土の魅力に気づいてもらい、料理への興味を持ってもらうきっかけ作りに努めました。</p> <p>また、各地域に保持されている技能登録・匠認定者の講師活動や伝承活動の場作りを行い、啓発・PRに努めました。</p> <p>実績：25回</p>		

担当または窓口 農産課		施策 高齢者 京都ならではの	目標
取組事項名	農山漁村伝承技能の登録・認定		
取組の内容	<p>農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われてきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録している。その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで紹介します。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価A	<p>農山漁村伝承技能登録の募集・登録については、隔年で実施しており、今年度が登録実施年度であったため、府内から募集を募ったところ、新たに34名が登録されました。また、総勢762名の技能登録者の中から、京の伝統文化を支える切り花生産や「ナス」や「京みず菜」の安定生産、肉用牛の飼養管理に関する技能保持者計4名を「農の匠」として、また、海面魚類の養殖に関する技能保持者1名を「海の匠」として認定（11/30）し、京都府ホームページで紹介しました。</p> <p>実績：1回</p>		

担当または窓口 農産課		施策 ライフスタイル	目標
取組事項名	京都米提供店の紹介		
取組の内容	京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録して米サイト「KYOTO米」に掲載し、広く府民に京都米を買ったり味わったりできる店舗をお知らせします。		
取組の実績 評価 A	京都米提供店の登録、紹介 153店舗 		

担当または窓口 農産課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	茶育の推進		
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ検定」の開催(山城広域振興局)や小学校での「宇治茶ふれあい教室」(茶協同組合)による茶育を行います。 目標: 実践型食育を実施している小・中学校の割合 98%		
取組の実績 評価 A	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ検定」は今年度4回実施し、定員270名のところ404名の申込みがあり、240名の参加がありました。 「宇治茶ふれあい教室」は25回開催され、1557人の子どもにお茶の淹れ方や茶園の観察などを通じた茶育を行いました。 		

担当または窓口 農産課		施策 ライフスタイル	目標
取組事項名	環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流		
取組の内容	京都府庁こだわりマルシェ他で、環境にやさしい農業への理解を深めるため、エコファーマーと消費者との交流会を進めます。 目標: 5回		
取組の実績 評価 B	府庁こだわりマルシェ32、同33、京都府農林水産フェスティバル(各日1団体×2日間)における農産物の販売を通じて、エコファーマーが消費者と交流することで、環境にやさしい農業への理解増進に努めました。 実績: 4回		

担当または窓口 水産課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	水産教室の開催		
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府職員が海や魚、漁業などに関する講義を行います。		
取組の実績 評価A	小学生を対象に京都の漁業の概要や資源管理、環境保全の取組みについて講義。令和元年7月30日(火)京都文教短期大学付属小学校5,6年生20名、教員ほか6名		



担当または窓口 水産課		施策 世代(全世代)	目標
取組事項名	都市漁村交流の促進		
取組の内容	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。		
取組の実績 評価A	蒲入水産(有)による「漁港めし」 平成31年4月13日～令和元年10月7日(うち73日実施)、利用者6,924人 ※京阪神方面からの利用者が大多数		



担当または窓口 中小企業総合支援課		施策 世代(高齢者)	目標
取組事項名	高齢者等への買い物支援		
取組の内容	商店街団体等が地域コミュニティの核となるため、また、買い物機能の維持・強化のために行う賑わいづくりや安心・安全の確保のために実施する施設整備等について支援する中で、高齢者等の商店街における買い物の利便性を高め、生活の質の向上を支援します。		
取組の実績 評価A	商店街等への来街者の安心・安全の確保を図るため、足元灯や街路灯、防犯カメラ等の施設整備事業、高齢者にも使いやすい「プレミアム付き商品券」事業を支援しました。		

担当または窓口 ものづくり振興課		施策 健康増進	目標 5
取組事項名	食品表示法・HACCP 研修会の開催（実施団体：食品産業協会）		
取組の内容	食品製造業者向けに食品表示法及び HACCP に関する研修会を行い、適正な情報を記載している食品の流通を目指します。また、HACCP 導入を推進し、食品製造・加工における衛生管理の向上を図り、消費者の健康増進へ繋がります。 目標：1回		
取組の実績 評価 B	実施なし 理由：組合員の需要に合わせ、テーマを「働き方改革」に変更したため		

担当または窓口 ものづくり振興課		施策 家庭	目標
取組事項名	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）		
取組の内容	農林漁業者・関係団体の参加を促し、農林水産物や加工品等の展示、試食、販売を通じ、消費者との交流を図ることで、食への意識向上を図ります。 目標：1回（毎年実施）		
取組の実績 評価 A	<p>日 時 令和元年 11月30日（土）12月1日（日） 場 所 京都府パルスプラザ 内 容 出展を通じて、京ブランド食品「京都吟味百撰」のPRを実施 来場者数 約 46,000人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	郷土料理作り		
取組の内容	<p>体験プログラムの一つとして実施します。地域の方を講師として招き、丹後ならではの調理法や魚さばきの仕方などを教えます。調理中の関わりの中で普段の生活スタイルを見直すきっかけづくりを行います。</p> <p>目標：小学校での利用などで年6回程度</p>		
取組の実績 評価A	<p>地域のお母さんを講師に、魚さばきや近隣の海で採れた海藻の調理法を教えました。丹後地域で生活している講師の視点から旬の食材や地産地消について、お話いただきました。 実績：2回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり		
取組の内容	<p>小学校利用や親子での利用。「おくどさん」でご飯を炊き、公園内でとれた木を薪にして燃料として使います。</p>		
取組の実績 評価A	<p>山へ柴刈りに行き、小枝や落ち葉を集め、マッチで火付けを行いました。昔ながらの森の活用法や薪の作り方を伝えました。水の量や火の加減、炊き上がりのタイミングなどを伝え、参加者自身でご飯を炊きました。</p> <p>実績：14回 参加者：212人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	石窯パン・ピザ作り		
取組の内容	親子で石窯によるパン・ピザ焼き体験を行います。京都府産小麦を使い、フードマイレージの話なども行います。		
取組の実績 評価 A	<p>地区行事や親子行事、企業の懇親会など、子どもからシニアの方までの幅広い世代で体験いただきました。 実績：13回 参加者：202人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 家庭、リブスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	アースデイ丹後		
取組の内容	アースデイ丹後では、地元食材である魚介類や米などを使ったフードの出店を推奨し、来場者に提供を行います。原則、電気を使用せずに公園内でとれた薪や地元産の炭を使って調理を行います。 目標：年1回実施		
取組の実績 評価 A	<p>丹後の食材を使った模擬店出店を行いました。食材はもちろん、燃料も地元の炭や薪を使用することで食材と燃料の地産地消を推奨しました。 実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		